

6月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和8年6月末現在〕

令和8年7月28日
茨城県中小企業団体中央会

全体で「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、いずれも前月比では改善した。

業種別でみると、製造業の「売上高」の前年同月比は悪化したが「景況」と「収益状況」は改善、非製造業では「景況」、「売上高」は改善し、「収益状況」は変化なしであった。

製造業、非製造業とも円安や中東情勢の悪化等により、引き続き資材等の高騰が続いている中、仕入価格等の上昇分を十分に価格転嫁できていないことから収益に影響が出ている状況が続いている。

景況DI

全体では、前月比 5.2ポイント改善の▲31.8ポイント、製造業は、前月比 ▲4.2ポイント悪化の▲29.2ポイント、非製造業は、前月比 2.0ポイント改善の▲35.0ポイントとなった。

売上高DI

全体では、前月比 6.6ポイント改善の2.3ポイント、製造業は、前月比 16.7ポイント改善の0ポイント、非製造業は、前月比 4.1ポイント悪化の5.0ポイントとなった。

収益状況DI

全体では、前月比 1.6ポイント悪化の▲38.6ポイント、製造業は、前月比 8.4ポイント悪化の▲41.7ポイント、非製造業は、前月比5.9ポイント改善の▲35.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和8年6月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	学校給食パン	年度初めの４月に包装素材が３０％近く値上がりしたばかりだが、中東情勢の悪化に伴い、包装資材の値上げを組合に申し入れられている。
		菓子	・さらなる円安進行等によるエネルギー・原材料・資材の価格高騰が続いており、収益を圧迫している。 ・コスト上昇分の商品への価格転嫁に時間を要している。 ・人材確保が困難な状況が続いている。
	繊維工業	外衣シャツ	年間の受注が確定しているため、大きな変化はない。
	木材・木材製品	製材	・国産材製品および外材の価格はおおむね横ばいで推移した。 ・原木価格については市場への入荷量の減少から、スギは受注量が多く高値安定で、ヒノキは横ばいで推移した。
		県北地区プレカット	月間加工坪数目標（１０００坪）は４５％達成。７月加工予定は２４棟ほどを予定し初旬～中旬に集中している。木材費は高値安定を維持。
	紙・紙加工品	段ボール	大手企業の生産量は前年同月比で増加しているが、前年の生産量が低調であったことが要因といえる。中小企業も生産量だけをみると前年同月比では増加している。但し、材料や副資材等の仕入高が上昇しているため収益は向上していない。今後は、収益改善を図るためにも取引先に対して値上げ交渉をしていかなければならない。
	印刷	総合印刷	令和８年の印刷産業全体の市場予測が発表され、「売上が縮小する」が４５．５％と最も多かった。課題は「中東情勢の悪化により材料費の高騰」との回答が８割近かった。昨年より厳しさを増した調査結果だった。
製造業	窯業・土石製品	陶磁器	秋の行楽シーズンによる需要増に向けて生産量を増やしている。
	鉄鋼・金属	鉄鋼	売上高は前年同月と同程度であった。機械部品・建築金物等の加工依頼は前年同月程度の受注量があった。組合員各社によってまちまちだが、加工賃の値上げを交渉している会社も出てきた。燃料費・電気代・材料費等についても高値で推移している。業界の景況は、少し持ち直し前年同月並みの状況である。
	一般機器	生産用機械	対象７組合員（製造会社）の売上高状況は、全社が増加で全体増減率は１１８％。 団地全体の売上高は、主要取引先のシステム更新が一段落したことにより受注が増加したことから、前年前月比では１１８％の売上高となった。また、受注増加により派遣社員が増加したことから団地全体の従業員数は前年同月比で約２０名の増加となった。
	電気機器	重電	急激な最低賃金上昇が販売価格に反映されていない。
	輸送用機器	県北地区自動車部品	中東情勢の影響により、石油製品に由来する各種製品の供給不足が懸念される。
非製造業	卸売業	生鮮魚介	丑の日のウナギやお盆に向けて売上の動きに期待したいが、物価高の影響もあり年々厳しい動きになってきている。
		袋セメント	・袋セメントの令和８年６月出荷数量は前月比横ばい、２２千袋の実績で前年同月比９１．０２％で推移した。 ・県南・県西地域で圏央道周辺工業団地等の需要は一部見られるものの、全体的には土木受注の伸び悩みと住宅着工の急減が重なり、県内のセメント需要は縮小傾向。さらに中東情勢の影響による資材不足や価格高騰の影響で、景況の先行きは不透明。 ・私製袋価格との値幅は依然縮まらず、流出傾向が続いている。
	小売業	県南地区共同店舗	ショッピングセンター全体での売上高は前年同月比は９７．９４％
		中古自動車	６月期の販売台数は１０９．３％、売上高は１０４．７％で若干増加したが、販売価格は９５．８％と低下した。一般販売店の状況は大きく改善しておらず、依然としてメガ専門店に市場が牽引されている。ユーザーの購買意欲も全体的な物価高から落ち込み気味である。販売価格の低下は、以前より安価な車両の需要が高まった表れともとれる。
	商店街	筑西	とにかく仕入価格の高騰が著しい。
	サービス業	旅館、ホテル	【県北エリア】 全体として閑散期にあたることに加え、週末の台風の影響や館内改修工事等により集客に苦戦する施設が見受けられた。一方で、週末の同窓会・合宿利用や鮎釣り解禁に伴う日帰り需要の獲得により売上を伸ばした施設もあったが、仕入原価等の高騰により利益は横ばいに留まっている。インバウンドは一部で少数見られるものの、全体としては極めて少ない状況。また、借入金利の上昇や最低賃金の引き上げへの懸念から、経営方針の抜本的見直しを迫られているとの切実な声も上がっている。 【県央エリア】 近隣での大型ゴルフ大会（プロツアー）による宿泊需要やスポーツ大会・修学旅行など学生団体の受け入れが堅調に推移した地域があった。しかし法人需要において出張経費の二極化（大手の高単価と中小の経費削減）が進んでおり、平日の中価格帯施設の単価が大幅に下落する価格競争が起きている。そのため、週末や特日の高単価販売で不足分を補うという極端な動きが見られる。さらに週末の台風によるキャンセル発生や諸経費の高騰により宿泊単価を上げても増収減益となるなど、厳しい利益確保の状況が続いている。 【県南エリア】 当月としては珍しく新入社員研修の利用があったものの、週末の台風によるキャンセルが大きく響き、個人の宿泊予約が激減する苦しい月となった。台風の影響を除いても、全体的な旅行消費の落ち込みが感じられる。ゴールデンウイーク等の特日には高単価でも予約が入る一方で、それ以外の通常日における需要の見極めが非常に難しくなっている。インバウンド需要も前年同月や他月と比較して低調に推移している。
		ビル管理	単発の受注もあり、売上高は増加しているが、引き続き労務費・資機材消耗品等の上昇により利益の増加には及ばない。
	建設業	県央地区管工事	７月から資材の値上げが相次ぐ。
		軽貨物自動車	６月度の組合員数は９５名、車両台数は１２４台で前月と比較して１名の減少、１台の減少となった。運送売上高は前年同月比１２８．８％。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	運輸業	一般貨物自動車	主要顧客の発送物量はほぼ横ばいで推移している。輸送運賃については前年から値上げしたが、まだ十分な運賃水準とは言えず、人件費上昇や経費の上昇等、依然収益は厳しい状況にある。また、オイルも不足しており燃料価格については高値で推移しており下がらない。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食米飯	6月3日に台風で県内は全校休校だったが、人件費等は関係なくかかるので、何らかの助成があると助かる。
印刷	総合印刷	中東情勢の悪化による中小企業への補助金等があれば良いと思う。 政府は資材上昇分等、中小企業の厳しさを考えていない気がする。
窯業・土石製品	コンクリート製品	・公共工事費（土木）の拡充 ・原材料の価格高騰への対応
電気機器	重電	業種別最低賃金は廃止すべき。
小売業	燃料	・揮発油に課税している二重課税に廃止 ・中東情勢悪化に伴う自治体との燃料油販売契約への柔軟な対応、燃料供給不足に対する手配（重油等の不足） ・中東情勢悪化に伴う収益悪化に対するSS事業者への金融的支援 ・暫定税率分の軽油に係る地方税への適切な対応 ・国のガソリン等燃料補助金の今後についての消費者への周知徹底
サービス業	旅館・ホテル	経営環境が厳しさを増す中、タイムリーな補助金情報の共有をお願いしたい。また、行政機関に対しては以下の支援策を強く要望する。 ・深刻な物価高騰に対する直接的な補助金の支給 ・人手不足解消に向けた「社会保険の壁（年収の壁）」の早急な見直し ・宿泊事業者をはじめとする中小企業への救済措置（税の引き下げ等の負担軽減策）

月次景況調査 6月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	6月	5月	前月比	6月	4月	前月比	6月	4月	前月比
景 況	▲ 31.8	▲ 37.0	5.2	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 4.2	▲ 35.0	▲ 37.0	2.0
売 上 高	2.3	▲ 4.3	6.6	0.0	▲ 16.7	16.7	5.0	9.1	▲ 4.1
収 益 状 況	▲ 38.6	▲ 37.0	▲ 1.6	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 8.4	▲ 35.0	▲ 40.9	5.9
販 売 価 格	20.5	17.4	3.1	20.8	16.7	4.1	20.0	18.2	1.8
取 引 条 件	▲ 18.2	▲ 21.7	3.5	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 20.0	▲ 31.8	11.8

中小企業月次景況調査(令和8年6月)DI値(前年同月比)

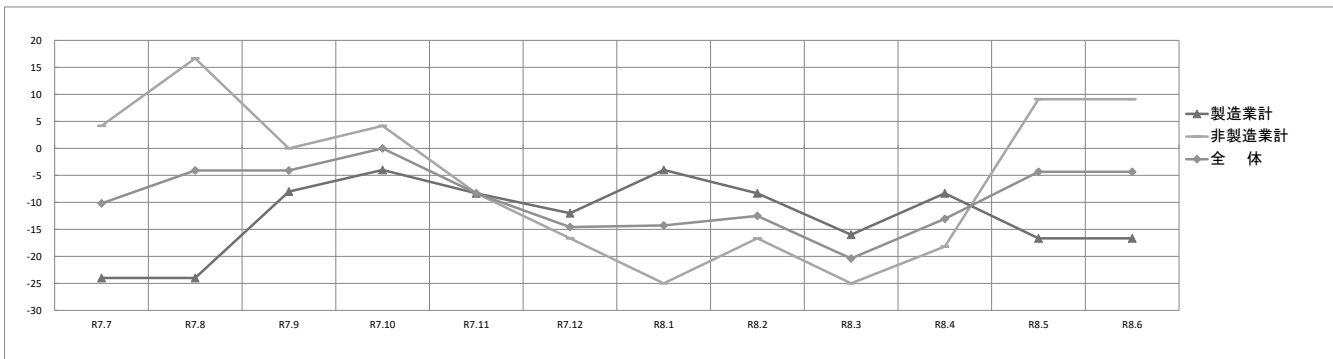
		売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況												
		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)										
				増加	不変			減少	業界数			増加	不変			減少	業界数			上昇	不変			悪化	業界数			好転	不変			悪化	業界数			好転	不変	悪化	業界数	好転	不変	悪化	業界数	増加	不変	減少
製造業	食料品	28.6	3	3	1	7	14.3	1	6	0	7	57.1	4	3	0	7	0.0	1	5	1	7	△ 57.1	0	3	4	7	△ 28.6	0	5	2	7	△ 14.3	0	6	1	7	△ 42.9	0	4	3	7	△ 42.9	0	4	3	7
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	木材・木製品	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 25.0	0	3	1	4	25.0	1	3	0	4	25.0	1	3	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 50.0	0	2	2	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	一般機器	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1
	電気機器	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	輸送機器	0.0	1	1	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3
	製造業計	0.0	5	14	5	24	0.0	3	18	3	24	20.8	6	17	1	24	△ 16.7	1	18	5	24	△ 41.7	1	12	11	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 20.8	1	17	6	24	△ 29.2	0	17	7	24
非製造業	卸 売 業	0.0	1	1	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	小 売 業 (商店街含む)	△ 12.5	3	1	4	8	0.0	0	8	0	8	0.0	2	4	2	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 25.0	0	6	2	8	0.0	0	8	0	8					0.0	0	8	0	8	△ 25.0	0	6	2	8	
	サービス業	33.3	1	2	0	3					66.7	2	1	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 100.0					0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3		
	建 設 業	0.0	0	4	0	4					25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0					0	3	1	4	0.0	0	4	0	4		
	運 輸 業	50.0	1	1	0	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0					0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	非製造業計	5.0	6	9	5	20					9.1	1	10	0	11	20.0	7	10	3	20	△ 20.0	0	16	4	20	△ 35.0	0	13	7	20	△ 10.0					0	18	2	20	△ 20.0	0	16	4	20	△ 35.0	0
全 体		2.3	11	23	10	44	2.9	4	28	3	35	20.5	13	27	4	44	△ 18.2	1	34	9	44	△ 38.6	1	25	18	44	△ 18.2	0	36	8	44	△ 16.7	0	20	4	24	△ 20.5	1	33	10	44	△ 31.8	0	30	14	44

D I 値推移表 (R7. 7月 ~ R8. 6月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R7. 7	R7. 8	R7. 9	R7. 10	R7. 11	R7. 12	R8. 1	R8. 2	R8. 3	R8. 4	R8. 5	R8. 6
食料品製造業	▲ 25. 0	▲ 37. 5	▲ 12. 5	▲ 12. 5	0. 0	0. 0	0. 0	▲ 12. 5	0. 0	0. 0	28. 6	28. 6
製造業(食料品製造業以外)	▲ 23. 5	▲ 17. 6	▲ 5. 8	0. 0	▲ 12. 5	▲ 17. 6	▲ 5. 8	▲ 6. 2	▲ 23. 5	▲ 11. 8	▲ 35. 3	▲ 23. 5
製造業計	▲ 24. 0	▲ 24. 0	▲ 8. 0	▲ 4. 0	▲ 8. 3	▲ 12. 0	▲ 4. 0	▲ 8. 3	▲ 16. 0	▲ 8. 3	▲ 16. 7	▲ 16. 7
卸売業	▲ 33. 3	66. 7	33. 3	▲ 33. 3	▲ 33. 3	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7	0. 0	0. 0
小売業(商店街含む)	9. 1	9. 1	0. 0	9. 1	▲ 9. 1	▲ 9. 1	▲ 27. 3	▲ 18. 2	▲ 36. 4	▲ 20. 0	20. 0	▲ 10. 0
サービス業	33. 3	66. 7	▲ 33. 3	33. 3	0. 0	33. 3	33. 3	66. 7	0. 0	0. 0	0. 0	33. 3
建設業	▲ 20. 0	0. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 25. 0	0. 0	0. 0
運輸業	50. 0	▲ 50. 0	50. 0	50. 0	50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	50. 0	50. 0	0. 0	50. 0
非製造業計	4. 2	16. 7	0. 0	4. 2	▲ 8. 3	▲ 16. 7	▲ 25. 0	▲ 16. 7	▲ 25. 0	▲ 18. 2	9. 1	9. 1
全 体	▲ 10. 2	▲ 4. 1	▲ 4. 1	0. 0	▲ 8. 3	▲ 14. 6	▲ 14. 3	▲ 12. 5	▲ 20. 4	▲ 13. 0	▲ 4. 3	▲ 4. 3

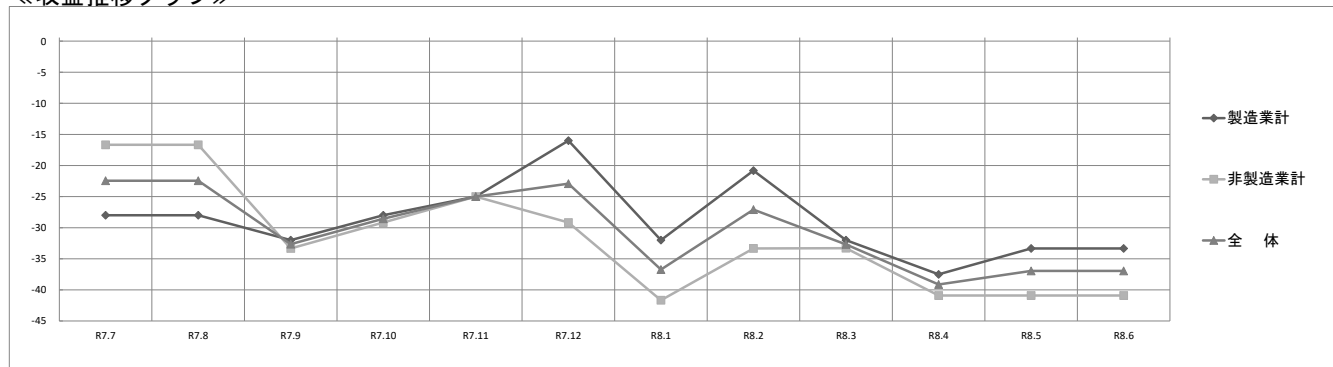
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R7. 7	R7. 8	R7. 9	R7. 10	R7. 11	R7. 12	R8. 1	R8. 2	R8. 3	R8. 4	R8. 5	R8. 6
食料品製造業	▲ 25. 0	▲ 37. 5	▲ 50. 0	▲ 37. 5	▲ 14. 3	0. 0	▲ 37. 5	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 57. 1	▲ 42. 9	▲ 57. 1
製造業(食料品製造業以外)	▲ 29. 4	▲ 23. 5	▲ 23. 5	▲ 23. 5	▲ 25. 0	▲ 23. 5	▲ 29. 4	▲ 18. 7	▲ 35. 3	▲ 29. 4	▲ 29. 4	▲ 29. 4
製造業計	▲ 28. 0	▲ 28. 0	▲ 32. 0	▲ 28. 0	▲ 25. 0	▲ 16. 0	▲ 32. 0	▲ 20. 8	▲ 32. 0	▲ 37. 5	▲ 33. 3	▲ 33. 3
卸売業	▲ 66. 7	▲ 33. 3	▲ 66. 7	▲ 100. 0	▲ 33. 3	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7
小売業(商店街含む)	9. 1	▲ 9. 1	▲ 27. 3	▲ 18. 2	▲ 36. 4	▲ 27. 3	▲ 54. 5	▲ 36. 4	▲ 45. 5	▲ 50. 0	▲ 40. 0	▲ 40. 0
サービス業	▲ 33. 3	0. 0	▲ 66. 7	▲ 33. 3	▲ 33. 3	▲ 33. 3	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 33. 3	▲ 66. 7	▲ 66. 7	▲ 66. 7
建設業	▲ 40. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	0. 0	▲ 20. 0	0. 0	0. 0	▲ 20. 0	25. 0	0. 0	0. 0
運輸業	0. 0	▲ 50. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0
非製造業計	▲ 16. 7	▲ 16. 7	▲ 33. 3	▲ 29. 2	▲ 25. 0	▲ 29. 2	▲ 41. 7	▲ 33. 3	▲ 33. 3	▲ 40. 9	▲ 40. 9	▲ 40. 9
全 体	▲ 22. 4	▲ 22. 4	▲ 32. 7	▲ 28. 6	▲ 25. 0	▲ 22. 9	▲ 36. 7	▲ 27. 1	▲ 32. 7	▲ 39. 1	▲ 37. 0	▲ 37. 0

《収益推移グラフ》

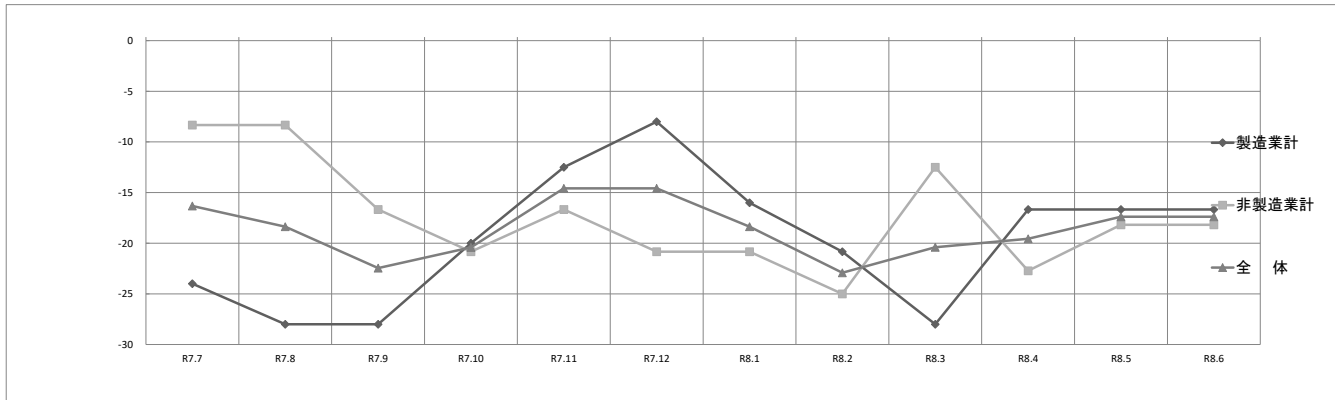


D I 値推移表 (R7.7月 ~ R8.6月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3	R8.4	R8.5	R8.6
食料品製造業	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 14.3	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6
製造業(食料品製造業以外)	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 11.7	▲ 6.2	▲ 23.5	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 23.5
製造業計	▲ 24.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 20.8	▲ 28.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 20.0
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
建設業	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 22.7	▲ 18.2	▲ 18.2
全体	▲ 16.3	▲ 18.4	▲ 22.4	▲ 20.4	▲ 14.6	▲ 14.6	▲ 18.4	▲ 22.9	▲ 20.4	▲ 19.6	▲ 17.4	▲ 17.4

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3	R8.4	R8.5	R8.6
食料品製造業	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.2	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 18.7	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 17.6	▲ 17.6
製造業計	▲ 32.0	▲ 36.0	▲ 32.0	▲ 28.0	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 36.0	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 25.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 100.0	#####	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	0.0	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 50.0
サービス業	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	0.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 29.2	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 54.5	▲ 50.0	▲ 50.0
全体	▲ 28.6	▲ 32.7	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 8.2	▲ 10.4	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 34.7	▲ 45.7	▲ 37.0	▲ 37.0

《景況推移グラフ》

